



新田中学校便り

令和8年4月吉日

港北区新吉田東 2-25-1

<http://www.educity.yokohama.jp/sch/jhs/nitta/>

令和8年度がスタートしました。

校長 長澤 茂雄

本年4月は、桜吹雪の舞う、春爛漫の中、新たに、258名の1年生を迎え、全校生徒795名で、令和8年度を開始しました。

新田中の生徒諸君は、前向きに、明朗快活な姿勢で学校生活を送ることができる、「意欲と向上心」のある方ばかりです。これも、御家庭での、丁寧なお子様の育成の成果と推察しています。ありがとうございます。

さて、本年度、本校の学校教育目標を、新たに改善し、「自立」と決めました。

中学校は義務教育後期の3年間です。義務教育修了時には、一人ひとりのお子さんが「各自の持ち味や魅力にふさわしい社会的自立」を目指す素養を確立します。新田中学校においても、この目標の実現のため、学習指導要領に則り、教育課程に基づいて教育活動を実践しています。その根本にあるのは、「それぞれの持ち味や魅力にふさわしい社会的自立」を考え、形作る、「キャリア教育」です。「中学校卒業後の進路決定」や「職業についての学び」は重要です。それに留まらず、「自分はどう生きるか」「自己の幸せな人生とは」を考え、それを実現する意欲と力の育成を目指します。

全ての教育活動の基盤として、日々の授業や学校行事においても、「キャリア教育」を推進します。御家庭や社会生活の中でも、「生き方を考える」機会を大切にしていただければ、ありがたいです。どうぞ、よろしく願いたします。

副校長 片岡 大樹

新年度が始まり、半月が過ぎました。校内には、進級した生徒たちの新鮮な表情と、前向きに学校生活に取り組もうとする意欲があふれています。新田中学校の生徒の皆さんは、日々の学びや生活の中で、自分を伸ばそうとする力を確かに備えています。自立とは、ただ一人で何でもできることではありません。自分の良さや課題を見つめ、これからの生き方を自ら考え、周囲と関わりながら前へ進んでいく力のことです。日々の授業や行事、仲間との関わりの中で、「自分はどうありたいのか」を考える経験こそが、自立への一歩につながります。

学年が一つ上がるという変化は、中学生にとって決して小さなものではありません。新しい役割や人間関係に、不安や戸惑いを感じることもあるでしょう。しかし、その変化の中で思い描いた理想は、ぜひ大切にしたいと思えます。思うようにならないことや困難に出合ったときこそ、自分を成長させるチャンスです。立ち止まって考え、助けを求めながら乗り越える経験が、将来の自立につながっていきます。学校は、生徒一人一人の歩みを支える場です。今年度も共に学び、共に成長していきましょう。よろしく願いたします。



4月7日(火)
入学式
258名の新入生



☞2年生の社会科では江戸時代、
2年国語では詩の勉強をしています☞



健康診断、
身体測定が進められています☞



☞各教室には自己紹介カード
2年数学は文字式の勉強をしています☞



☞体育はスポーツテスト、
☞1年生も元気に授業に参加しています。